

2017年10月22日
永眠者記念墓前礼拝
川越山城霊園

司式・説教 加藤享牧師

黙 禱
讃 美 431 いつくしみ深き
聖 書 エゼキエル書 37章 12～14節

それゆえ、預言して彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。また、わたしがお前たちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしはお前たちを自分の土地に住まわせる。そのとき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、行ったことを知るようになる」と主は言われる。

説 教 墓から引き上げて下さる神
祈 り
讃 美 608 かなたにはまばゆき
終 禱

墓から引き上げてくださる神

[1] 死についての聖書の信仰

私たちは、皆死にます。生まれた時から死に向かって歩き出す——これが私たちの人生です。旧約聖書には、地上の全ての人の祝福の基アブラハムが、「満ちたりにて死に、先祖の列に加えられた」と記されています。彼の孫ヤコブも、エジプトで死んだ時、「わたしが先祖たちと共に眠りについたなら、わたしを エジプトから運び出して、先祖たちの墓に葬ってほしい」と息子ヨセフに誓わせています。あのモーセも「あなたは間もなく先祖と共に眠る」と主から言われました。

この信仰は、新約聖書でも受け継がれています。イエス・キリストも、死を眠りと呼び、少女、若者、壮年をいずれも、眠りから起こすようにして死から生き返らせました。そして主ご自身は、十字架で死に、墓に葬られましたが、三日目に墓より復活なさいました。そこでパウロは「キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました」と述べています。

そしてこの主イエス・キリストが、終わりの日に再びこの世界に來られて、既に眠りについている者も、その時生きている者も全てを集めて、お裁きになり、キリストの救いの恵みを受け入れる者のみが、天に備えられた神の都に迎えられるという、終末待望の信仰が確立されました。ですから聖書全巻は、「アーメン、主イエスよ、来て下さい」という言葉で締めくくられています。

[2] 墓から引き上げてくださる神

私たちは、地上の生涯を終えたら、直ぐに天国へ行けるわけではありません。眠りにつくのです。眠りには目覚める朝があります。死は終わり(The End)ではありません、先祖と同じ墓で眠りについて、主の再臨を待つ——世の終りの日を持つ眠りですから「永眠」が一番ふさわしい表現ではないでしょうか。

今日お読みした旧約聖書のエゼキエル書37章で、預言者エゼキエルは、こう語りなさいと主から命じられえます。「わたしは、お前たちの墓を開く。私が墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、おまえたちはわたしが主であることを知るようになる。またわたしがお前たちの中に、霊を吹き込むと、お前たちは生きる」

墓が私たちの「終のすみか」ではないのです。世の終りの時が来ると、神の御子キリストが天から下り、裁きの座に着かれます。すると主なる神御自身が、全ての墓を開いて、永眠者を墓から引き上げて、キリストの裁きの座に一人一人を連れて行ってくださるのです。

神は私たちを、いつまでも墓に眠らせておくお方ではないのですね。終わりの時に救い主キリストを再び世に遣わし、裁きの座にお着



かせになると同時に、神ご自身も下って来て、墓を一つ一つ開いて、眠りについている者を引き上げて、キリストの前に連れて来てくださるのですね。

私たちは、主の御手に引かれてキリストの前に立ち、裁きを受けるのです。でも主なる神の熱い愛が、私の手を握る神のみ手を通じて私の全身に伝わってきます。ですから私たちはその愛に促されて「主よ、罪深い私をお赦しください。あなたこそ、私の救い主です」という告白を捧げることが出来るのではないのでしょうか。そして、天国に入ることを許されるのです。

キリストの十字架の死によって、どんな罪をも贖ってくださり、終わりの日には、私たちを墓から引き上げて、救い主キリストの前に立たせてくださる。——このように、全ての人を、罪の滅びから救おうと心を砕く神の愛——本当に有難い恵みです。

[結] 家族皆で天国へ

自分だけでなく、愛する家族にも、是非この恵みにあずかってもらいたいものです。親子親族が皆一緒に、天国に迎えられて、感謝と喜びに溢れた日々を、永遠に送ることが出来たら、どんなに幸せでしょうか。

ですから信仰の継承は、何よりも大切です。そのためにも、故人の信仰を偲ぶ記念礼拝を定期的に守り、墓地を通じて教会につながってもらい、同じ墓に眠る信仰者になるよう、信仰の継承を、心がけていきたいものです。

祈ります: 主なる神さま。私たちが信仰をもってこの世の生涯を閉じることが出来る恵みを感謝します。私たちが皆、墓に葬られて眠りにつきます。しかし救い主イエス・キリストが再び來られる時には、神さま、あなたが墓を開いて、私たち一人ひとりを引き上げ、キリストの御前に連れて行くとお約束くださっていることを、今日も御言葉で教えられました。感謝します。願わくば愛する家族も皆、この信仰をもって永眠するように、お導きください。そして皆で祝福に満ちた天国に迎えられるように、お導きください。救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。 アーメン